

生産性  
向上

工場生産の経験豊富なプロ人材を獲得し、介護用・治療用・業務用食品の販売から事業拡大した製造部門の収益性向上に挑む

## 企業概要

業種	卸売業・小売業、製造業
本社所在地	広島県大竹市
創業年	昭和21年
代表取締役	栗本 保男
従業員数	83名

## 主な事業の内容

「食」を通して健康を創造する企業として：  
 ・治療用・介護用食品の医療機関・福祉施設・給食受託業者への卸売  
 ・在宅療養者向け食品等の小売  
 ・治療用・介護用食品及び在宅療養者向け食品の開発・製造

## 企業の課題・プロフェッショナル人材を採用したきっかけ

多様化する顧客ニーズに積極的に対応していくため、子会社として、食品製造会社を設立・運営していたが、業績不振により、当社に吸収合併し本社工場として再発足させた。その立て直しが急務であるが、自社内に製造管理に精通した者がいなかった。

## 採用したプロフェッショナル人材

氏名	保坂 弘士	年齢	54歳
家族構成	妻・子供2人	還流ルート	Jターン
出身地	山口県宇部市	前居住地	群馬県桐生市
役職名等	美和工場工場長		
前職	食品製造会社工場長		

## 経歴

- 1988年 大学卒業後、大手電子機器製造会社山口工場に入社。生産技術、量産ラインの工程管理に携わる。
- 2010年 電線・ケーブル製造会社に入社。中国の現地法人工場で品質管理、製造管理に携わる。
- 2013年 食品製造会社工場長として、製造・生産管理、品質管理、設備保全、開発に従事。
- 2018年 当社に入社



## プロフェッショナル人材の声

～新天地での活躍～

美和工場工場長  
保坂 弘士

前職の食品製造会社工場長の経験を活かし、  
当社工場の生産効率向上、収益改善に貢献したい



## 転職に至った経緯

前の会社（群馬県の実業製造会社）では、工場長として製造全般を統括し、新工場設立にも関わりました。2017年には、単身赴任して5年になろうとし、社内で後継者も育ててきていましたので、これまでの私の業務経歴にある、大規模な工程から中小規模の工程までの幅広い製造管理の経験を活かし、新たな職場で能力を発揮したいと考えるようになりました。また、山口県宇部市の自宅に、妻、子供2人の3人が暮らしていましたが、長男の大学受験、次男の高校受験等難しい時期を迎え、サポートのため、群馬県から頻りに帰省を余儀なくされていました。こうした中、新たな職場を自宅に近いところに見つけたいと思い、転職活動を始めました。

## 入社を決めた理由

転職活動をしていく中で、私の経験が活かせる、かつ自宅近くに本社がある企業からの求人、なかなか巡り会えませんでした。そのような状況下、登録していた人材紹介会社の一つから、山口県の隣県、広島県西部にある大竹市の食品卸・

製造の会社が工場長を募集していることを知り、応募しました。採用面接で、社長から、「食と健康」についての熱い想いと当社が治療用食品や介護用食品などを通じ社会の重要な役割を担っていることの説明を受けました。工場部門の立て直しのために私の力が是非必要との強い要請を受け、このような素晴らしい会社に必要とされるのであれば、前職の業務経験も活かしながら、やりがいをもって働けるのではないかと、挑戦を決意しました。

## プロフェッショナル人材が担当している業務

当社の製造部門である美和工場（山口県岩国市）の工場長として、製造全般を統括しています。社長から明確に、製造部門の収益性を高めることとのミッションをいただいていますので、原価管理と工程管理において業務の見直しを行い、生産効率の改善に努めています。社長との意思疎通を密にしながら、工場働く従業員とのコミュニケーションを図り、業務目標の共有化や提言等がしやすい職場作りを心がけています。忙しい毎日ですが、働き甲斐と喜びが感じられる充実した日々を過ごしています。



## 社長の声

～プロフェッショナル人材の採用の効果～

代表取締役  
栗本 保男

**工場生産のプロとしての手腕を発揮し、工場の立て直しを進め、採用後9か月で製造部門の赤字幅を半減**



当社は、「食」を通して健康を創造する経営理念のもとに事業を展開し、病院向けの治療食、高齢者施設向けの介護食、在宅療養者向けの食品などの販売を行い、順調に業績を伸ばしています。飽食が進んだ高齢化社会の中で、お客様のニーズに一層応えていくために、8年前に食品を製造する子会社を立ち上げましたが、この子会社の業績不振が続いたため、最近、当社に吸収合併し、本社工場として再発足させました。製造部門であるこの工場の生産効率を向上させ、立て直すことが急務でした。しかし、社内にそれができる人材はいませんでした。

そのような悩みをかかえているときに、取引銀行から紹介された広島県プロフェッショナル人材戦略拠点に相談したところ、人材紹介会社を通じ、積極的に外部人材を募集されてはとの提案をいただき、同拠点より紹介された人材紹介会社のうち一社を通じ、今回の採用に至りました。

多くの工場で製造管理を経験し前職が食品製造会社工場長の保坂弘士は、当社の工場長としてうってつけであり、私の伝えたミッションである「生産効率の改善による収益力の向上」のために、すみやかに計画を立案し、実行に移しました。当初は、工場従事者の中に従来の手順等にこだわり抵抗を示す者もありましたが、保坂の人柄による従業員との良好なコミュニケーションと旺盛な改革意識により、工場は徐々に変わっています。もちろん、私も工場を時折訪問し、朝礼や会議で積極的にフォローしています。

保坂が当社に来てまだ9か月ですが、成果は着実に現れています。すでに赤字幅は半減しており、黒字化の達成も近いと思います。具体的には、まず、彼が適正な生産計画を立ててくれるおかげで食材ロスが大幅に減少し製造原価の圧縮につながっています。次に、彼自身を先頭とした従業員の自発的な工夫・改善により工程の合理化や生産品目の追加による生産量の増大がもたらされています。

近い将来、工場の増設を計画していますが、彼に先頭にたって進めてもらうことを期待しています。



工場朝礼を行うプロ人材



合同懇親会にて



## 採用担当者の声

～プロフェッショナル人材採用にあたり 苦労・工夫した点～

専務取締役  
高橋 貴輝

**プロ人材の住居の確保と住居費負担軽減の配慮を行い、本社と美和工場の合同懇親会を実施**

美和工場長の採用については、半年前から採用活動をしていましたが、ハローワークを主とした求人であったこと、勤務先が大竹市から10数キロメートル内陸部に入ったところであったためか、候補者が全く出てこない状況でした。こうした中で、プロ拠点から紹介された人材紹介会社から、早速候補者を数名推薦いただき、うち1名が食品製造会社の工場長経験者であったことが決め手となり、社長面接まで進みました。その保坂弘士は当社への入社意欲が強く、一方社長は彼の人柄やキャリアから是非欲しい人材と考え、給与・処遇面を最大限配慮して入社要請をし、マッチングが成立しました。

彼の勤務先は群馬県桐生市でしたから、自宅のある山口県宇部市へは相当近づきご家族は大変喜ばれたと聞いています。更に、新しい勤務場所に近く、なお自宅への交通の便も良い大竹市市街地に、会社が住居を確保した上、住宅手当を支給しています。このことにより、週末は必ず帰省し家族との団らんができています。

保坂が入社するにあたり、社長が社内の会議の場で工場長として転職者を受け入れる旨を表明し、彼の経歴や家族の状況等を説明し、理解と協力を要請しました。入社後も、本社と工場との合同の懇親会を行う等により、従業員との融和に努めています。美和工場において、保坂は積極的に従業員とコミュニケーションを取り、打ち解けていますが、社長もできるだけ工場の朝礼や会議に同席し、ミッションも彼からだけでなく社長自ら伝えるなどフォローしています。社長と保坂との面談は社長の工場訪問時に適宜行っていますが、彼から業務改善や新製品の提案が積極的に出てきており、この仕事に対する情熱・意気込みが感じられます。悩み事等の相談があれば直接社長に言いにくいこともあろうかと考え、定期的に私にメールしてもらうようにしていますが、いつも前向きな内容ばかりで嬉しく思っています。